

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 自転車条例とヘルメット着用の普及 (15分)</p> <p>本年に入って700日続いていた市内の交通事故死ゼロの取組が途絶えてしまい、市は、補正予算を組み非常事態として交通安全推進に取り組んでいます。直近では、坂戸のヤマダ電機近くの交差点での死亡事故があり、西入間警察署管内は埼玉県内でワーストワン、そして、埼玉県自体も全国でワーストワンの死亡事故の状況と伺っております。</p> <p>また、平成24年には、富士見中学校の男子生徒がチャレンジ学習で消防署まで行く途中に交通事故で亡くなっており、事故自体は坂戸市内で発生し、坂戸市は平成26年に坂戸市自転車の安全な利用に関する条例を制定しました。</p> <p>鶴ヶ島市では、条例の制定は未だなされておらず、4年前の私の質問の答弁では、中学校5校のうち自転車安全教室を開催しているのは3校にとどまっていました。</p> <p>一方で、鶴ヶ島第一小学校が西入間管内での代表として交通安全子供自転車埼玉県大会に出場したと伺いました。</p> <p>交通安全推進にあたり、自転車安全利用促進についてお伺いします。</p> <p>(1) 自転車損害保険加入義務化への市と教育委員会の対応と取組は。</p> <p>(2) 自転車ヘルメットの着用を鶴ヶ島中学校では、義務化し、購入を推進しておりますが、他の市内中学校への影響や教育委員会のサポートは。</p> <p>(3) 交通安全子供自転車埼玉県大会出場について</p> <p>(4) 自転車安全利用促進条例の制定とヘルメット利用促進について</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>
<p>2 市HPのアクセシビリティについて (15分)</p> <p>鶴ヶ島市公式ホームページでは、高齢者や障害者など、誰もがホームページ等で提供される情報や機能を利用できるよう、日本工業規格JIS X 8341-3:2016「高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第3部：ウェブコンテンツ」に対応することを目標とし、アクセシビリティの確保と向上に取り組まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機種依存文字(丸付き数字やローマ数字)は使用しない。 ・すべてのページに、ページの内容がわかるように的確なタイトルをつける。 ・文字サイズは利用者が変更できるようにする。 ・文字色と背景色のコントラストを充分にとり、文字が読みやすい環境に配慮する。 	<p>市長</p>

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>・表示されているページが、サイト全体、もしくはコンテンツ内のどこに位置しているか把握できるようにする。</p> <p>・できる限り表形式での表現は避ける。</p> <p>以上の方針での試験を行い、それを公表していく事によりアクセシビリティの確保と向上は、進められております。</p> <p>しかしながら、その対象にPDFファイルが含まれておりません。読み上げソフトに対応していないPDFファイルへの対応が求められております。</p> <p>(1) 鶴ヶ島市のアクセシビリティの確保と向上の現状と取組について</p> <p>(2) 読み上げソフト対応などPDFファイルへの取組について</p> <p>3 つなぐシートがつなぐ生きる支援 (15分)</p> <p>NPO法人自殺対策支援センターライフリンクの清水康之(しみず・やすゆき)氏の講演が鶴ヶ島市で実現し、法律で義務付けられている計画策定についての具体的な内容の市職員向けと議員や民生委員なども含めた関係団体を対象とした「誰も自殺に追い込まれることのない“生き心地の良い鶴ヶ島”をめざして ～地域のつながりが命を守る～」と題した講演とが午前と午後にわたり行われました。</p> <p>自殺対策とは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「当事者本位の生きる支援」。 ・「もう生きられない」「死ぬしかない」という状況に陥っている人が、それでも「生きる道」を選べるように支援すること。 ・そもそも、人がそうした状況に陥ることのない地域・社会を創ること。 ・自殺対策とは、地域・社会づくりでもある。 <p>という理念を学び、結論として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策は、地域づくりの絶好の切り口になる。 ・自殺に対応できる地域のネットワーク／力は、他のあらゆる問題にも対応できるものであるはず。 ・関係者の力を結集させることができるか否かで、地域住民の命を守れるか否かが決まる。 <p>と、学びました。</p> <p>具合的には、足立区や江戸川区で実施している事業の棚卸し、つなぐシートの作成がネットワークの力を発揮する重要なファクターであると私自身受け止めました。</p> <p>(1) 自殺対策として展開の可能性のある鶴ヶ島市の事業の棚卸しにつ</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>いて</p> <p>(2) つなぐシートの作成と活用について</p> <p>(3) セミナーで学んだことと今後の取組について</p> <p>4 SDG s と自治体の関わりについて (15分)</p> <p>国連が2015年に採択した「持続可能な開発目標」(SDG s)について、「誰一人取り残さない社会を実現する」という基本的な考え方の取組は、持続可能な地域社会をつくるという地方創生につながるものとして政府の方向性が示され、2018年度予算では、「SDG s 未来都市」を選定してモデル事業への補助金を4億円計上されています。</p> <p>SDG s (エス・ディー・ジーズ) とは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。</p> <p>SDG s がゴールにしている2030年は、地方創生の最終目標の2060年の人口の目標に向けた中間点であり、SDG s の政策を進めることが、持続的に発展していく為の我が市の地方創生に役立つのではないのでしょうか。</p> <p>(1) 内閣府の昨年秋ごろの全国自治体へのSDG s への認知度のアンケートには、約4割の回答があり、うち3分の1が「関心がある」と回答していますが、鶴ヶ島市の対応は。</p> <p>(2) 埼玉県初のSDG s 未来都市への取組を。</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>